

## 議員特別研修実施報告書

報告議員名	加藤勝義	報告日	平成30年11月30日
調査研究・研修等 名 称	全国市議会議長会研究フォーラムin宇都宮		
実 施 日	平成30年11月14日（水）～15日（木）		
会 場	宇都宮市文化会館		
調査研究・研修等の 概 要	<p>地方分権時代に即応した議会機能の充実と地域づくりに資するため。</p> <p>① 基調講演「共生社会と地方自治体」                  ② パネルディスカッション「議会と住民の関係」                  ③ 課題討議「議会と住民の関係」</p>		
調査研究・研修等の 成果と感想	<p>基調講演やパネルディスカッションをとおして、人口減少や2040年問題、住民と議会のありかた、議会改革や市民参加の必要性など、近年何度も耳にしている事柄ではあったが、ではどうするという解決策を、現実的にそして決定的な答えは見いだせなかった。そんな中で、江藤俊昭先生の地域の多様化、超高齢化、低所得者の増加問題で課題が浮上するとして基礎自治体の変容あるいは自治体独自では対応できない課題があるとして、自治体間連携が必要になるとしていた。「圏域」に交付税の交付といった議論ともつながる。行政主導の自治体連携であり、住民自治の推進のためにはどのように地域連携をし、住民は、議会はどう係わるかを検討する必要があるとしている。この課題検討は公共施設の統廃合や議員のなり手不足問題の解消にもつながるとしていたことは、今後の地方自治のあり方にもつながると思う。</p>		

※1調査研究・研修等の成果を証する書類の写しを添付してください。

※2調査研究・研修等に要した費用の支出を証する書類を添付してください。